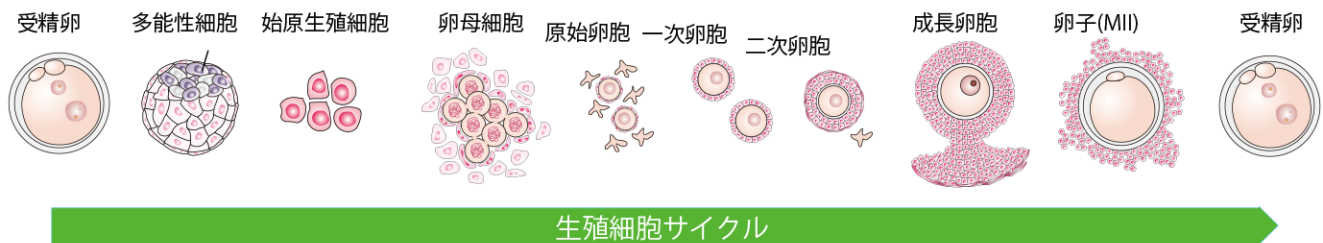


講座名（専門科目名）	生殖遺伝学	教授氏名	林 克彦
学生への指導方針	自主自律のもとサイエンスの苦中有楽を会得して、将来自立できる研究者の育成を目指しています。基本的に研究テーマは一人一つ。学生であっても、ある程度独立して自らの考えを研究の内容に反映させられるように、お互いに努力していきます。		
学生に対する要望	チャレンジ精神旺盛な学生を歓迎します。		
問 合 せ 先	(Tel) 06-6879-3900 (Email) hayashik@gcb.med.osaka-u.ac.jp	担 当 者	林 克彦
その他出願にあたっての注意事項等			

生殖細胞系列は次世代の個体をつくる唯一の細胞系列であり、世代を超える永続性が担保されています。生殖細胞系列の大きな特徴は、様々な分化過程を経たのちに遺伝子の多様性を獲得しながらも、最終的には受精することにより生命のはじまりの受精卵に戻ることです。この生殖細胞サイクルは種を維持する基盤であり、堅牢なシステムにより支えられている「はず」です。このシステムの理解は、長い進化の過程で組み上げられた生殖適応を理解するばかりでなく、システムの揺らぎにより生じる不妊や発生異常の原因究明や治療法の開発にも寄与します。我々の研究室では生殖細胞サイクルの堅牢性を理解するために、おもに卵母細胞系列の発生・分化メカニズムの解明を、独自の再構築系を駆使しながら行なっております。



生殖細胞系列における細胞の品質はどのように保たれているのか？

- (1) 卵子を恒常的かつ長期的に産生するシステムの理解
- (2) 生殖細胞の性差を生み出す遺伝子ネットワークの解明
- (3) 生殖細胞系列の発生を再現する多細胞再構築系の開発